

No.55
2020年3月発行

かわさき

市バスニュース

市バスカラーの青と白を基調として、イメージキャラクター「かわさきブルフィン」とともに市域全体を走る市バスがお客様の生活を支える足として続いていくことを表しました。



70周年記念ロゴ

市バスは今年70周年を迎えます!



市バスは、昭和25(1950)年12月15日に営業を開始し、多くのお客様に支えられながら、今年で70周年を迎えることとなりました。日ごろから市バスをご利用いただいているお客様に感謝の気持ちをお伝えするとともに、身近な公共交通機関としての市バスに親しみを持っていただき、これからも多くの方々にご利用いただくため、「市バス70周年記念事業」を実施します。

令和2年12月に向けて、記念グッズ販売、ラッピングバスの運行、市民の皆様やお客様が参加して楽しめる企画などを予定しています。

① 第1号の市バス車両 (S25年) ② ボネットバスのエンジン整備 (S25年頃) ③ 市バスで1台だけ使われたトレーラーバス (S26年) ④ 2代目のデザインの市バス (S31年~S57年)

市バスの歩み



市バスは、昭和25(1950)年12月15日に大島営業所を拠点とし、浜町三丁目から新丸子駅間の12.04キロ区間をバス11両で開業しました。

昭和30年代に入ると、臨海部における工業の拡大と港湾整備による就業人口の増加、人口の急増等による急激な需要増に対応するため、市バス路線の拡充整備が積極的に進められました。

その後も、本市の発展と人口増に合わせ営業を拡大し、平成31年4月1日時点では、認可キロ数約200km、在籍車両数349両(貸切バス5両を含む)となっています。



昭和30年代初めの川崎駅前(交通局所蔵資料)